

歯科口腔保健の推進に関するグランドデザイン(案)

資料6①

健康寿命の延伸

- 適切な食生活の実現や社会生活の質の向上
- 歯・口腔の健康が関わる疾病の予防・重症化予防

- 健康で質の高い生活のための歯科口腔保健の実現
- 歯・口腔に関する健康格差の縮小

個人の
行動変容

口腔機能の獲得・維持・向上
歯科疾患の予防・重症化予防

生涯にわたる
歯・口腔の健康

個人を支える

歯科口腔保健の推進のための社会環境の整備

歯科口腔保健に関する取組みの実施

多職種連携の推進

関係機関との連携体制の推進

口腔保健支援センターの設置

歯科口腔保健推進計画の策定

口腔保健推進会議の開催

ライフステージごとの特性・ライフコースアプローチを踏まえた歯・口腔の健康づくり

次世代

就労世代

高齢者

歯科口腔保健推進計画の指標の設定について

歯科口腔保健推進
のための体制整備

アウトプット

アウトカム

目指す姿

■ 口腔保健支援センター の設置

歯科口腔保健 に関する施策の実施

- 切れ目のない歯科健(検)診等の実施
- 歯科保健指導の実施
- 歯・口腔の健康づくりに関する知識の普及 など

社会環境の整備

- 歯科口腔保健に関する技術支援
- 障害者(児)や要介護高齢者等に関わる支援者等の歯科口腔保健に関する知識や技術の向上
- 医科歯科連携を含む多職種連携の推進
- 学校、保育所、職域等、多部局にわたる連携体制の推進

口腔保健推進会議の開催

歯科口腔保健推進 計画の策定

■ 個人のライフコースに沿った 歯科口腔保健の実現

フッ化物応用によるう蝕予防

- フッ化物塗布及び洗口を受ける者の増加
- 集団フッ化物塗布及び洗口を実施する施設の増加

歯周病の予防

- 歯周病検診の受診率の向上
- 歯周病と糖尿病の関係性の認知度の向上

歯科健(検)診の受診

- 各種歯科健(検)診の受診率の向上
- 定期的に歯科健(検)診を受診する者の増加

定期的な歯科医療機関の受診

- かかりつけ歯科医を持つ者の増加
- 歯科健(検)診受診後に歯科医療機関を受診する者の増加

歯科口腔保健に対する意識の向上、適切なセルフケアの実施

- 1日3回以上歯をみがく者の増加
- フッ化物配合歯磨剤や補助的清掃用具を使用する者の増加

■ 生涯にわたる歯・口腔の健康 の獲得 ■ 歯・口腔に関する健康格差 の縮小

歯科疾患の 予防・重症化予防

- う蝕の減少
- 歯周病の減少
- 未処置歯の減少
- その他の歯科疾患の減少(口腔粘膜疾患等)

口腔機能の 獲得・維持・向上

- 良好な口腔の成長・発育
- 歯の喪失の防止
- 咀嚼良好者の増加
- 口腔機能が低下する者の減少

適切な食生活の実現や社会生活等の質の向上

歯・口腔の健康が関わる疾病の発症予防・重症化予防

健康寿命の延伸・健康格差の縮小

歯科口腔保健推進計画 指標（案）

資料6③

目標		指標（案）	指標のデータソース	現状値	（年度）	目標値* （案）	【参考】 現計画の指標	【参考】 現計画目標 値 （R4）	【参考】 評価 結果	【参考】 国目標値（案） （R14）				
アウトプット	個人 の 歯科 口腔 保健 の 実 に 沿 っ た	歯科健（検）診の 受診率の向上	妊産婦歯科健診受診率	妊産婦歯科健診	38.4%	(R4)	46.0%	妊産婦 1歳6か月児 3歳児	30.0%	A	-			
			1歳6か月児歯科健康診査受診率	1歳6か月児歯科健康診査	75.3%	(R4)	84.0%		75.0%	A	-			
			3歳児歯科健康診査受診率	3歳児歯科健康診査	67.9%	(R4)	79.0%		70.0%	A	-			
			歯周病（歯周疾患）検診受診率 （40歳・50歳・60歳・70歳の合計）	歯周病（歯周疾患）検診	6.0%	(R4)	10.0%	40歳・50歳・60歳・ 70歳検診の合計	10.0%	B	-			
			19歳以上における過去1年間に 歯科健診を受診した者の割合	北九州市健康づくりに関する実態調査	46.8%	(R4)	50.0%		【新規目標】	-	-	95% （全年齢）		
			かかりつけ歯科医がいる者の割合 （40～64歳）	北九州市高齢者等実態調査	69.0%	(R4)	74.0%	【新規目標】	-	-	-			
	口腔の健康と全身の健康の 関係に関する知識の普及	19歳以上における歯周病と糖尿病の 関係を知っている者の割合	北九州市健康づくりに関する実態調査	32.6%	(R4)	50.0%	歯周病と糖尿病の関係を知っている者の 割合の増加（40歳以上）		50.0%	C	-			
		65歳以上における口腔ケアが誤嚥性肺炎を 予防することを知っている者の割合	北九州市健康づくりに関する実態調査	54.1%	(R4)	70.0%	口腔ケアの重要性の 認知度の増加 （65歳以上）	口腔ケアが誤嚥性肺炎を 予防することを知って いる者の割合	70.0%	C	-			
アウトカム	※	う蝕の減少	3歳児で4本以上のう蝕のある歯を 有する者の割合	3歳児歯科健康診査	4.1%	(R4)	2.0%	【新規指標】		-	-	0%		
			3歳児でう蝕のない者の割合	3歳児歯科健康診査	87.7%	(R4)	92.0%	乳幼児・学齢期で う蝕のない者の 割合の増加	3歳児	80.0%	A	95%		
			12歳児でう蝕のない者の割合	学校歯科検診	62.4%	(R4)	67.9% (R8)		12歳児	60.3%	C	95%		
	生涯にわたる歯・口腔の健康の獲得	歯科疾患の予防・重症化予防	歯周病の減少	中学生における歯肉に炎症所見を 有する者の割合	学校歯科保健調査	19.7%	(R4)	18.6% (R8)	中学生における歯肉に炎症所見を 有する者の割合の減少		20.0%	C	-	
				20歳代における歯肉に炎症所見を 有する者の割合	北九州市健康づくりに関する実態調査	22.2%	(R4)	14.0%	20歳代における歯肉に炎症所見を 有する者の割合の減少		25.0%	A	10%	
				40歳で歯周炎を有する者の割合	歯周病（歯周疾患）検診	53.4%	(R4)	48.5%	40歳における進行した歯周炎を 有する者の割合の減少		25.0%	C	25% （40歳代）	
				60歳で歯周炎を有する者の割合	歯周病（歯周疾患）検診	59.6%	(R4)	52.0%	60歳における進行した歯周炎を 有する者の割合の減少		65.0%	A	45% （60歳代）	
	獲得・維持・向上	口腔機能の 向上	未処置歯の減少	40歳で未処置歯を有する者の割合	歯周病（歯周疾患）検診	35.7%	(R4)	34.0%	40歳で未処置歯を有する者の 割合の減少		10.0%	D	-	
				60歳で未処置歯を有する者の割合	歯周病（歯周疾患）検診	26.2%	(R4)	18.0%	60歳で未処置歯を有する者の 割合の減少		27.0%	B	-	
	※	獲得・維持・向上	歯の喪失の防止	咀嚼良好者の増加	50歳以上における咀嚼良好者の割合	北九州市健康づくりに関する実態調査	65.8%	(R4)	80.0%	咀嚼良好者の割合の増加 （60歳代）		80.0%	C	80%
				歯の喪失の防止	60歳で24歯以上の自分の歯を 有する者の割合	北九州市健康づくりに関する実態調査	74.1%	(R4)	87.0%	60歳で24歯以上の自分の歯を 有する者の割合の増加		更に改善	A	95%
80歳で20歯以上の自分の歯を 有する者の割合					北九州市健康づくりに関する実態調査	57.7%	(R4)	75.0%	80歳で20歯以上の自分の歯を 有する者の割合の増加		47.0%	A	85%	
※			40歳以上における自分の歯が 19歯以下の者の割合	北九州市健康づくりに関する実態調査	19.9%	(R4)	11.0%	【新規目標】		-	-	5%		

※ 歯・口腔に関する健康格差の縮小

*目標値は評価予定のR9までの値(健康づくりに関する実態調査の項目は調査年のR10)で設定

各ライフステージにおける歯科口腔保健対策(案)

資料6④

		妊娠・出産期 マイナス1歳	乳幼児期 0～5歳	学齢期・青年期 6～18歳	成人期 19～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上
目標・特性		○産まれてくる子どものため、両親が歯・口腔の健康づくりを行う	○歯・口腔の健全な発育・発達 ○う蝕の予防 ○適切な生活習慣(食べた後や寝る前の歯磨き等)の定着に向けた練習	○切れ目のないう蝕・歯周病予防 ○適切な生活習慣の定着 ○集団での歯科疾患の発症予防 ○健康格差の縮小	○定期的な歯科健診受診による歯科疾患の予防・重症化予防 ○適切な生活習慣の確立・継続実施	○定期的な歯科健診受診による歯科疾患の予防・重症化予防の強化 ○歯・口腔の健康が関わる疾病の発症予防・重症化予防	○歯の喪失防止 ○口腔機能の維持・向上による食生活の実現や社会生活等の質の向上
主な取り組み	個別	○妊産婦歯科健診(妊娠後から産後1年以内の妊産婦)	○乳幼児歯科健診(1歳6か月、3歳、4歳、5歳) ○フッ化物塗布(1歳6か月、3歳) ○各区乳幼児個別相談における歯科保健指導	—	○親子歯科健診(1歳6か月児の保護者)	○歯周病検診(40歳、50歳、60歳、70歳)	○後期高齢者歯科健診(76～80歳)
	集団	○各区マタニティ教室における歯科保健指導	○4、5歳児歯科検診 ○保育所や子ども食堂等での歯みがき指導	○学校歯科検診 ○フッ化物応用(洗口、塗布) ○歯みがき指導	—	○歯科医師・歯科衛生士による歯・口腔の健康に関する出前講演	○歯科医師・歯科衛生士による歯・口腔の健康に関する出前講演
○正しい知識の普及啓発(歯科疾患の予防、全身疾患との関連、口腔機能の維持・向上)							
現状・課題 (令和3年値)		○妊産婦歯科健診受診率 38.4%【順調に向上】	○乳幼児歯科健診受診率 1歳6か月児 75.8%【政令市19位】 ○むし歯のない子どもの割合 3歳児 86.8%【政令市16位】	○むし歯のない子どもの割合 12歳児 58.7%【政令市最下位】	○現状把握ができていない	○進行した歯周炎のある40歳の割合 51.9%【全国平均と比較して高い】 〈参考値〉44.7% 40歳代・全国平均値	○喪失歯のない60歳の割合が低い 50.0%【全国平均と比較して低い】 〈参考値〉74.4% 24歳以上の者・全国平均値
対策(行動目標)	市民						
	関係機関		○おやこの食育教室の開催(北九州市食生活改善推進員協議会)			○企業健診の個別健診への取組(公益社団法人北九州市歯科医師会)	
	行政						